

河鍋暁斎記念美術館（南町4-36-4 ☎441-9780）3・4月展示  
企画展「学び・遊ぶ―幕末・明治の子供たち―」展

会期：3月1日（火）～4月25日（月） 休館日：毎週木曜、4月26日～30日  
入館料：一般540円、中～大学生430円、小学生以下210円 ※団体（20名以上）要予約



↑河鍋暁斎記念美術館のHPへはこちらから  
<http://kyosai-museum.jp/>

今月も先月に引き続き、暁斎・暁翠が子供たちを描いた作品を展示する企画展「学び・遊ぶ―幕末・明治の子供たち―」展を開催しております。今月は春爛漫、八重桜の美しい暁翠筆「八重桜に鳥」（掛軸）が、いよいよ登場します。

「桜のまち文化展」は終わりましたが、桜並木の桜と共に、当館の桜ほか、40点の作品もお楽しみ下さい。

## 「東海道名所之内 伊勢外宮」応需周磨（暁斎） 大金板 大判錦絵

幕末1863年、第14代将軍徳川家茂（在家）が200数十年ぶりに上洛した際に出版された錦絵「御上洛東海道（ゴジョウウトウカドウリ）」シリーズに、暁斎が描いた一枚です。伊勢神宮（化ジソウ）へ参詣する「お伊勢参り」は、江戸時代の庶民が旅することができた数少ない場所で、庶民に大人気となりました。この図の子供たちは大名行列の槍持ちをまね、柄の長い柄杓（ヒシヤク）を立てて歩く姿を可愛らしく描いています。ところで子供たちはみな、柄杓を持っています。江戸時代、親や奉公先の主人に無断で伊勢参りに出掛ける「抜け参り」が盛んでした。なんと、無一文でも柄杓を一本持っていれば、沿道の施しを受けながら旅できたというのです。1830年には、徳島の子供たち20～30名が抜け参りをしたのをきっかけに、約半年間に500万人近い参詣人が伊勢神宮に押し寄せたそうです。この絵の柄杓を持つ子供たちも、伊勢神宮へ「抜け参り」に来たのでしょう。



## 南小学校 ひまわり学級（特別支援学級）

あっという間の3学期。3学期は市内特別支援学級合同の「卒業生を送る会」や校内の「6年生を送る会」がありました。南小のひまわりっ子は「おむすびころりん」の英語劇を発表しました。校長先生のナレーターにあわせて、子ども達それぞれがおじいさん、おばあさん、隣のおじいさん、隣のおばあさん、ねずみ達役になりきり演じました。最高の演技ができました。上演後、観客からは大きな拍手を頂きました。12月からスタートした練習は前日まで毎日行われ、その中で子ども達同士が認めあったり、助け合ったりと大きな成長が見て取れました。春は別れと出会いの季節。卒業生は一中のけや

き学級に進学。一方で、ひまわり学級にも新入生が入学します。1年生・2年生・3年生・4年生でのスタートとなり、ひまわり学級はまた新たな人間模様を見せてくれるでしょう。たくさんの行事や経験を通してまた一回り大きく成長してほしいと願っています。1カ月おきにひまわりっ子の元気な様子を紹介していきます。お楽しみに。

地域の皆様には、日頃よりひまわり学級を温かく見守っていただきありがとうございます。今後いろいろな場面でお力をお借りすることがあるかと思います。どうぞよろしくお願い致します。

## 【南公民館よりお知らせ】

平成28年4月1日付けで 加納 克彦 館長が中央公民館へ

坂本 旻 館長（市民活動推進室より）が着任しました。